

## AV MATERIAL

## ニュースクリップ &amp; 映像教材

### ■第49回「日本賞」2022 グランプリ日本賞を決定

令和4年11月4日（金）、NHKによる標記国際コンクールの授賞式がオンラインで行われた（写真）。式上にて、グランプリ日本賞の栄に輝いたのは、映画「ドゥーニャとアレppoのお姫様」（カナダ）。入賞作品の詳細については、下記を参照のこと。  
<https://www.nhk.or.jp/jp-prize/index.html>



写真・日本賞授賞式の様子

### AV情報

#### ■公開シンポジウム「あらためて高大接続を考えるー有識者との議論を通じてー」

日本学術会議では、標記をテーマとしたシンポジウムをオンラインにより開催する。

<日時>令和4年12月12日（月）18:00~20:00

<内容>分科会における議論の報告、登壇者からの意見、登壇者・参加者との討議等。要事前申込。定員300名。参加費無料。

<問い合わせ先>日本学術会議

TEL 03-3403-3793

#### ■国際シンポジウム「地域文化と博物館」

国立民族学博物館他主催により、標記シンポジウムがオンラインにより開催される。

<日時>令和4年12月16日（金）13:30~16:40、

17日（土）10:30~16:10

<内容>基調講演、総合討論等。要事前申込。申込締切は、令和4年12月14日（水）まで。定員450名に達し次第、受付終了。

<問い合わせ先>国際シンポジウム「地域文化と

博物館」事務局 MAIL [hidakakikan4@gmail.com](mailto:hidakakikan4@gmail.com)

#### ■教科書研究センター「“新しい”教科書の使い方」公開

（公財）教科書研究センターでは、小学校の教員向けに、教科書のより効果的な使い方を示した「“新しい”教科書の使い方」を刊行し、HPに公開している。国語、社会、算数、理科、外国語（英語）、道徳、教科等横断的な学習のための教科書の使い方等。詳細は、（公財）教科書研究センターHPより、「“新しい”教科書の使い方」を参照。

<問い合わせ先>（公財）教科書研究センター

TEL 03-5606-4311

#### ■V4中央ヨーロッパ子ども映画祭

国立映画アーカイブ他は標記映画祭を開催する。

<日時>令和4年12月10日（土）14:00~15:15

<会場>国立映画アーカイブ小ホール（地下1階）

（東京都中央区京橋3-7-6）

<内容>スロバキア、チェコ、ハンガリー、ポーランドの4つの国のアニメーションを上映。要事前申込。定員150名。定員に達し次第締切。中学生以下無料、一般520円。高校生・大学生・65歳

以上310円。

<問い合わせ先>国立映画アーカイブ ハローダイヤル TEL 050-5541-8600

### ■第49回実践研究助成募集

(公財)パナソニック教育財団では、ICTを効果的に活用した実践研究の助成先を募集している。

<対象>小学校、中学校、義務教育学校・小中一貫校、高等学校、中等教育学校・中高一貫校、特別支援学校、教育研究グループ、教育委員会等。

<内容>ICTを活用して課題解決・改善に取り組む実践研究。

<助成>一般(1年間)50万円×65~75件程度。特別研究指定校(2年間)150万円×3~5件程度。

<締切>令和5年1月13日(金)17:00まで。

<問い合わせ先>(公財)パナソニック教育財団 TEL 03-5521-6100

### ■(一社)デジタル人材共創連盟「情報Ⅱ」教材動画コンテンツ公開

若年層のデジタル活動を支援する(一社)デジタル人材共創連盟では、令和5年4月より、高等学校において「情報Ⅱ」の選択科目が始まることに向けて、学校現場や教育委員会等で活用できる教員研修教材を作成し、同連盟のHPに公開している。内容は、文部科学省「情報Ⅱ研修用教材」に沿って作成されている。

<問い合わせ先>(一社)デジタル人材共創連盟 MAIL d.learning.experience@gmail.com

## コンクール情報

### ■「第5回中高生情報学研究コンテスト」ポスター発表募集

(一社)情報処理学会では、令和5年3月4日(土)に電気通信大学でハイブリッド開催する標記コンテストにおいて、学習成果のポスター発表を募集している。

<募集テーマ>高等学校共通教科情報科および中学校技術・家庭科技術分野「D情報に関する技術」の趣旨に即した分野。

<応募資格>中学生や高校生、高専生(3年まで)で構成されたチーム(4名以下)。

<賞>中高生研究賞最優秀賞1件他。

<申込締切>令和4年12月22日(木)正午。ポス

ターの締切は、令和5年2月9日(木)。

<問い合わせ先>(一社)情報処理学会 中高生情報学研究コンテスト TEL 03-3518-8373

### ■「第64回科学技術映像祭」作品募集

科学技術への関心を喚起するとともにその普及と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的として、(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟他主催による標記映像祭では、作品を募集している。

<募集部門>1自然・くらし部門、2研究・技術開発部門、3教育・教養部門

<応募資格>日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究・教育機関および個人が製作した作品。

<募集要件>令和4年1月1日から令和5年1月25日までに完成した作品で本映像祭へ初出品であること。作品の上映時間は原則として90分以内。映画・ビデオ、テレビ番組、インターネット等で配信・配布されている動画等。

<賞>内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞他。

<締切>令和5年1月25日(水)必着。

<問い合わせ先>科学技術映像祭事務局(公財)日本科学技術振興財団人材育成部 TEL 03-3212-8487

### ■港区デジタルアーカイブ教育活用コンテスト

東京都港区教育委員会では、標記コンテスト開催にあたり、港区デジタルアーカイブを活用した教材や授業プラン・授業実践報告書を募集する。

<部門・募集作品>1.教材部門(港区デジタルアーカイブの資料を活用した教材)、2.授業プラン・実践報告部門(港区デジタルアーカイブの資料を活用した授業の学習指導案又は授業実践報告書)※1、2ともに様式は自由。

<応募資格>公私立の小・中学校、高等学校の教員、教職課程を履修する学生、学校司書、司書教諭、司書、学芸員※港区在住・在勤・在学以外の方も応募可。

<賞>港区教育長賞 各部門1点他。

<締切>令和5年1月24日(火)

<問い合わせ先>港区教育委員会事務局教育推進部教育長室教育史編さん担当

MAIL minato07@city.minato.tokyo.jp

## 学会情報

### ■学習分析学会「2022年度第2回JASLA研究会」

学習分析学会では、標記研究会を会場とオンラインによるハイブリッド開催する。

<日時>令和4年12月10日(土)午後

<会場>早稲田大学(東京都新宿区西早稲田1-6-1)

<内容>学習履歴データの取得・分析・利活用に関する研究や実践事例発表。要事前申込。定員は対面会場60名、オンライン250名。参加費無料。

<問い合わせ先>学習分析学会

MAIL staff@jasla.jp

### ■情報知識学会「第27回情報知識学フォーラム」

情報知識学会では、「人文学テキストを通じた研究データ共有」をテーマに、フォーラムを現地開催とオンラインにより開催する。

<日時>令和4年12月18日(日)13:00~17:30

<会場>国立情報学研究所12階会議室・学術総合センター内(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

<内容>講演、ポスターセッション等。要事前申込。申込締切は、令和4年12月12日(月)。参加費無料。

<問い合わせ先>第27回情報知識学フォーラム

実行委員会 MAIL jsik2022.forum@gmail.com

## 各地の情報

### ■Educational Solution Seminar 2022 in 東北

(一社)日本教育情報化振興会では、「21世紀型の新しい教育へ~その想い、未来をつくる~」をテーマに、セミナーを開催する。

<日時>令和4年12月26日(月)11:00~17:00

<会場>TKPガーデンシティ仙台 仙台AER21階(仙台市青葉区中央1-3-1)

<内容>メタバース、STEAM教育に関するセミナー、展示。要事前申込。

<問い合わせ先>富士電機ITソリューション(株)

Educational Solution Seminar in 東北 事務局

MAIL x-fsl-tohoku-seminar2022@fujielectric.com

### ■広島大学附属小学校「第100回研究発表協議会」

広島大学附属小学校では、「<他者>を楽しみ続ける子どもの育成ーメタ認知を働かせる学習と評価でカリキュラムを編むー」を研究主題に、オ

ンラインにより協議会を開催する。

<日時>令和5年2月4日(土)12:30~16:30

<内容>授業動画を事前配信、当日はその動画をもとに各教科に分かれての教科別協議会、講演等。要事前申込。申込締切は、令和5年1月25日(水)15:00。参加費1,000円、学生無料。

<問い合わせ先>広島大学附属小学校 担当 野元 TEL 082-251-9882

### ■令和4年度京都市立葵小学校研究報告会

京都市立葵小学校では、「競争から共創へ『対話×探究×システム思考』」をテーマに報告会を開催する。

<日時>令和5年2月7日(火)13:30~17:00

<内容>公開授業、トークセッション、対話会等。要事前申込。申込締切は、令和5年1月30日(月)。参加費 資料代として、2,000円(京都市立学校教職員、学生は無料)。

<問い合わせ先>京都市立葵小学校 教頭 忠谷嘉人 TEL 075-701-7151

## 文部科学省選定作品

### ■10月選定 紙 紙しばい D DVD

「あか・あお・きいろ どのこが どのこ?」

紙8枚<幼児、教養>(株)童心社

「OASHIMOTO~カーペットを巡るストーリー~」

D92分<高等学校、工業/青年・成人、職業の知識技術(工業)>日本数物団地協同組合

「君は、ひとりじゃない SOSの出し方、知っていますか」D18分<少年、家庭や地域等における教育(少年期)>(株)映学社

「誰にも相談できない? SOSの出し方を知っておこう」D20分<少年、家庭や地域等における教育(少年期)>(株)映学社

「SOSが届いたら 相談にのれる心構え」D18分<成人、家庭や地域等における教育(その他)>(株)映学社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/movie/main9\\_a1.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm)

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。

## ■ 全国ICT教育首長協議会情報

### 「全国ICT教育首長サミット」「第5回日本ICT教育アワード」開催



全国ICT教育首長協議会主催、文部科学省、総務省、経済産業省後援による「全国ICT教育首長サミット」が、令和4年11月17日（木）、国際ファッションセンターホール（東京都墨田区）において、41自治体、200名の参加者を得て開催された（写真）。

同協議会では、ICT教育推進のための財源確保と制度改革等に係る国への要請とともに、首長が主体となってICT教育を推進する優れた取組を顕彰し広く周知し、自治体相互の連携を図ることで、我が国の教育の情報化の推進に寄与することを目的としている。

平成28年の発足以来、年度賞として「日本ICT教育アワード」を実施するとともに自治体首長による「全国ICT教育首長サミット」を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第5回となる今回は平成31年1月の第3回以来の開催となった。

開会式では、横尾俊彦佐賀県多久市長の会長挨拶に続き、来賓祝辞として築和生文部科学副大臣、国光あやの総務大臣政務官、長峯誠経済産業大臣政務官により、ICT教育推進への激励の言葉が述べられた。

「第5回日本ICT教育アワード」の表彰式では、大久保昇審査委員長（（一財）日本視聴覚教育協会

会長）による審査概評に続き、文部科学大臣賞、総務大臣賞、経済産業大臣賞の授与、全国ICT教育首長協議会会長賞受賞の6自治体、審査委員特別賞として日本視聴覚教育協会会長賞が1自治体に授与された（受賞自治体の実践概要については、本誌次号に掲載の予定）。

#### <参加した首長（代理を含む）>

秋田県由利本荘市 湊貴信市長／茨城県水戸市 高橋靖市長／埼玉県久喜市 梅田修一市長／東京都渋谷区 長谷部健区長／東京都荒川区 西川太一郎区長／富山県氷見市 林正之市長／長野県箕輪町 白鳥政徳町長／長野県白馬村 丸山俊郎村長／岐阜県美濃市 武藤鉄弘市長／三重県名張市 北川裕之市長／大阪府枚方市 伏見隆市長／奈良県生駒市 小紫雅史市長／愛媛県西条市 玉井敏久市長／愛媛県四国中央市 篠原実市長／高知県須崎市 楠瀬耕作市長／福岡県田川市 二場公人市長／福岡県赤村 道廣幸村長／佐賀県多久市 横尾俊彦市長／佐賀県玄海町 脇山伸太郎町長／大分県玖珠町 宿利政和町長／熊本県山江村 内山慶治村長／鹿児島県垂水市 尾脇雅弥市長